

表 2 小児気管支喘息の長期管理に関する薬物療法プラン(基本治療)

	治療ステップ1	治療ステップ2	治療ステップ3	治療ステップ4
2歳未満	発作の強度に応じた治療	ロイコトリエン受容体拮抗薬 and/or DSCG 追加治療 吸入ステロイド薬 低用量	吸入ステロイド薬 中用量	吸入ステロイド薬 高用量 以下の併用も可 ・ロイコトリエン受容体拮抗薬
2〜5歳		ロイコトリエン受容体拮抗薬 and/or DSCG and/or 吸入ステロイド薬 低用量	吸入ステロイド薬 中用量	吸入ステロイド薬 高用量 以下の併用も可 ・ロイコトリエン受容体拮抗薬 ・テオフィリン徐放製剤 ・長時間作用性 β_2 刺激薬の併用あるいはSFCへの変更
6〜15歳		吸入ステロイド薬 低用量 and/or ロイコトリエン受容体拮抗薬 and/or DSCG	吸入ステロイド薬 中用量	吸入ステロイド薬 高用量 以下の併用も可 ・ロイコトリエン受容体拮抗薬 ・テオフィリン徐放製剤 ・長時間作用性 β_2 刺激薬の併用あるいはSFCへの変更

各吸入ステロイド薬の用量対比表

(単位 $\mu\text{g}/\text{日}$)	低用量	中用量	高用量*
FP、BDP、CIC	~100	~200	~400 #
BUD	~200	~400	~800
BIS	~250	~500	~1000

FP: フルチカゾンプロピオン酸エステル

BDP: ベクロメタゾンプロピオン酸エステル

CIC: シクレソニド

BUD: ブデソニド

BIS: ブデソニド吸入懸濁液

SFC: サルメテロールキシナホ酸塩・フルチカゾンプロピオン酸エステル配合剤

*高用量の吸入ステロイド薬使用は経験豊富な小児の喘息治療に精通した医師の管理下で行うことが望ましい。

#用量は添付文書上承認されている投与量を超えている。